



南島原市国際交流員

フランチのチャオ! 南島原 「外国語上達法」



私は4ヶ国語をマスターしているため、「どうすれば外国語が上手になれるの?」と頻りに聞かれます。

今月のコラムではこの質問に答えながら、日本人の皆さんに上達法を色々とお勧めしたいと思います。

初めに、私の多言語習得経験を絡ませながら、日本で気づいた難点について説明します。日本、特に地方では、私が生まれ育ったヨーロッパと比較すると、多言語・多文化と接することが難しいです。それに、日本の幼稚園・小中学校・高校では英語以外の言語を習得することは珍しいようです。その上、学校の英語教育は受験に向けた勉強が多いようなので「読解」のみに力を入れてしまっているような気がします。さらに、外国語を教えるときに、日本人に発音しやすいように、読み書きにカタカナを使うことが多いのが問題です。例えば、日本語が分からない英語圏の人にカタカナ英語で話しかけても、それは母国語の発音とは違い過ぎるので意味が通じず、会話になりません。つまり、外国語に関して日本人の弱点は「口頭表現力」と「聴力」だと思います。

この弱点を克服するために最も重要なのは、その言葉に触れ合う環境を作ることです。例えば、マスターしたい言語が母国語の国にしばらく滞在することが最も効率的です。



赴任当時からお友だちの中岡さんとイチゴ畑にて

理由は、言葉が上達しないとその国で生活ができないからです。それに、教科書でどんなに外国語を勉強しても、自分でその国で生活してみない限り、文化・国民性・日常生活・習慣・表現の仕方などに触れ合うことができません面白くないし、貴重な経験を見逃すことになってしまうので本当にもったいないと思います。

さまざまな理由で海外に行けない人は、外国語で話したり、聞く練習ができるように、その言語が母国語の友だちを作ったり、会話教室に通ったりすることも方法の一つです。それに、外国の映画・ドラマなどを見たり、音楽を聴いたりして、できる限りその言語に触れ合う環境を作ると良いでしょう。子育てをしている皆さんには、できれば、幼児から子どもを国際的な環境で育てることが大事だと伝えたいです。例えば、留学生を受け入れたり、外国人のベビーシッターを採用したりすることはお勧めです。

こんにちは! 消費生活センターです 南島原市消費生活センター ☎0957(82)3010

電力の小売全面自由化がはじまります!

～便乗商法に注意し、よく理解してから契約を～



2016年4月1日から、電力の小売全面自由化が始まります。これまでは地域ごとの事業者との契約でしたが、自由化により複数のさまざまな業態・業種の事業者の中から、消費者が契約先を選択できるようになります。

これと同時に便乗商法や、よく理解しないまま契約することでトラブルにあう可能性もあります。被害を防ぐために、次のポイントに注意しましょう。

●「電気料金が必ず安くなる」という勧誘トーク

電気料金は世帯人数や電力を使用する主な時間帯で左右され、各家庭で異なるため、一概に安くなるとは限りません。十分検討しましょう。

●契約内容の確認

電力以外の商品・サービスを同時に契約しないと割引料

金にならない、というものもあります。契約期間は長期になっていないか、解約時に違約金を請求されるものでないか、家族・友人・知人と一緒にしっかり確認しましょう。

●こんな便乗商法に注意!

「小売自由化になり、太陽光発電システムで売電すると儲かる」「小売自由化が始まり、家庭に蓄電池を設置するとお得だ」など、電力の小売自由化と直接関係のない契約については、その必要性を考えましょう。

詳細については資源エネルギー庁や(独)国民生活センターのホームページをご参照ください。

困ったことがあれば消費生活センターにご相談ください。



つなごう未来へ!
島原半島ユネスコ世界ジオパーク

ジオパークで あり続けるための取り組み



島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジオくん」



島原半島ユネスコ世界ジオパーク
キャラクター「ジオなちゃん」

☎0957(65)5540

ジオサイト② 『守山大塚古墳』と『雲仙市歴史資料館・国見展示館』



守山大塚古墳の全景(雲仙市教育委員会 提供)

堤防道路から雲仙グリーンロードに向かって進むと、左手に墓地になっている小高い丘があります。この丘は人の手によってつくられた“古墳”です。

守山大塚古墳(以下、古墳)は、幅51m、長さ70mに達する、県内2番目の大きさを誇る前方後円墳で、4世紀前半(約1700年前)ごろにつくられたと推定されています。

平成20~21年に、古墳の周囲で行われた発掘調査の際には、葺石と呼ばれる装飾や古墳を守る役割を担う丸石が大量に出土しました。太古の人々は、田内川が運ん

だ角が取れて丸くなった雲仙火山の溶岩を用いて、大切な古墳を守ろうとしたのでしょう。しかし奈良時代以降、島原半島北部では多くの水田や畑がつけられるようになり、地面は平らにならされ、多くの遺跡などが失われたと推測されます。にもかかわらず、この古墳が残ったのには理由があります。

古墳がつくられた当時、日本を治めていた大和朝廷にとって、農作物の確保は大変重要でした。島原半島は豊かな農作物を産み出す貴重な土地であったため、朝廷はその管理を信頼のおける重要人物に任せていた可能性があります。古墳が円墳でなく前方後円墳であることも、これを裏付けます。前方後円墳は、朝廷と関わりの深い人物しかつくり出すことが許されなかったからです。

雲仙市歴史資料館・国見展示館は、古墳周辺での発掘調査の成果や、島原半島北部に点在する遺跡からのさまざまな出土品を展示しています。旧神代中学校の校舎を利用したこの展示館で、およそ3万年間にわたって島原半島で繰り広げられてきた人々の営みと歴史を感じてみませんか。

次回は、ユネスコ世界ジオパークの最新情報をお伝えします。

教えて! 国民年金 ～国民年金用語集「障害基礎年金」～

国民年金加入中に初診日がある病気やけがが原因で、障害が残ったときに支給される国民年金の給付のことです。ただし、加入期間のうち3分の1以上保険料の滞納がないこと、または直近の1年間に保険料の滞納がないことが条件になります。

障害の程度に応じて1級と2級があり、1級の方が

障害が重く、年金額は2級の1.25倍となります。

子どもの頃から一定以上の障害がある人にも受ける権利があり、その場合の支給は20歳からになります。

障害の程度が該当しているのでは?と思ったら、まずはお近くの年金事務所へご相談ください。

*詳しくは、お近くの年金事務所へ ☎0957(25)1662
日本年金機構 南島原市 保険年金課 ☎050(3381)5039 または 各支所
お尋ねください。